

# 山形県医療審議会（平成29年度第1回）

## 議事概要

- ・日時：平成29年8月17日（木） 14:00～14:35
- ・場所：山形県庁2階 講堂

### 1 開 会

### 2 挨拶 （武田健康福祉部長）

### 3 議 事

#### 「病院の病床計画について」

事務局から資料により説明。

#### ○主な意見・質疑等

- ・病床機能を急性期から回復期へ転換する方向性を示した地域医療構想において、今回の諮問に係る病床機能は一般病床のうち何にあたるのか。また、地域医療構想との関係において、今回の計画の位置付けはどうか。

（事務局）神経難病の病床の中でも急性期病床は山形大学附属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館が担っているが、国立病院機構山形病院は慢性期病床となっている。急性期病床が増える方向ではなく、地域医療構想の方向性に反するものではない。

- ・平均在院日数が178.4日ということだが、なぜ療養病床でなく一般病床なのか。また、山形病院の病床の稼働状況はどうなっているか。

（事務局）山形病院の神経難病の病床は、身体障害者手帳をお持ちの患者が主であり、一般病床の病床機能としては慢性期だが、障害者施設等一般病棟（7対1）で、療養病床では対応できない病床である。また、山形病院の一般病床のこの3年間の病床利用率は約91%である。

- ・結核患者が山形病院に入院する場合、このモデル病床で対応することになるのか。また、その場合、一般病床の看護師が、結核の患者があった場合には臨時でモデル病床に配置されてケアをすることになるのか。

（事務局）モデル病床で受け入れることになり、結核モデル病床として区画され、安全に十分配慮した施設設備のなかで、同じ病棟内の看護師が対応していく。

- ・結核患者の方は、あまりいないということか。

（事務局）本県の結核罹患率は、平成28年は10万人あたり7.2人となっており、全国最低となっている。

#### ○採決

委員一同、異議なし

4 その他 特になし

5 閉 会

以 上